

小さく表記する文字等

1. 小さく表記する文字

通常は、拗音や詰音で記述すると小さく表記されますが、そうでない場合などには、小さく表記したい文字の前に「l」（littleの「l」）を書くと、変換しなくてもその文字は即座に小さく表記されます。但し、50音すべてが小さく表記されるのではなく、次の(1)～(5)の文字だけです。

(1) 小さい母音

la→あ、li→い、lu→う、le→え、lo→お

(2) 数助詞

lka→カ、lke→ケ 例)一カ月、一ヶ所（一箇所）

(3) 詰音

ltu→っ

(4) ヤ行拗音

lya→や、lyu→ゆ、lyo→よ

(5) ワ行拗音

lwa→わ 例)くわ、ぐわ、うわ

2. その他

(1) ワ行文字

wi→(変換)→ゐ→(変換)→ヰ

we→(変換)→ゑ→(変換)→ヱ

wo→(変換)→を

(2) 外来語の「ヴ」

vu→ヴ 例)ヴァイオリン